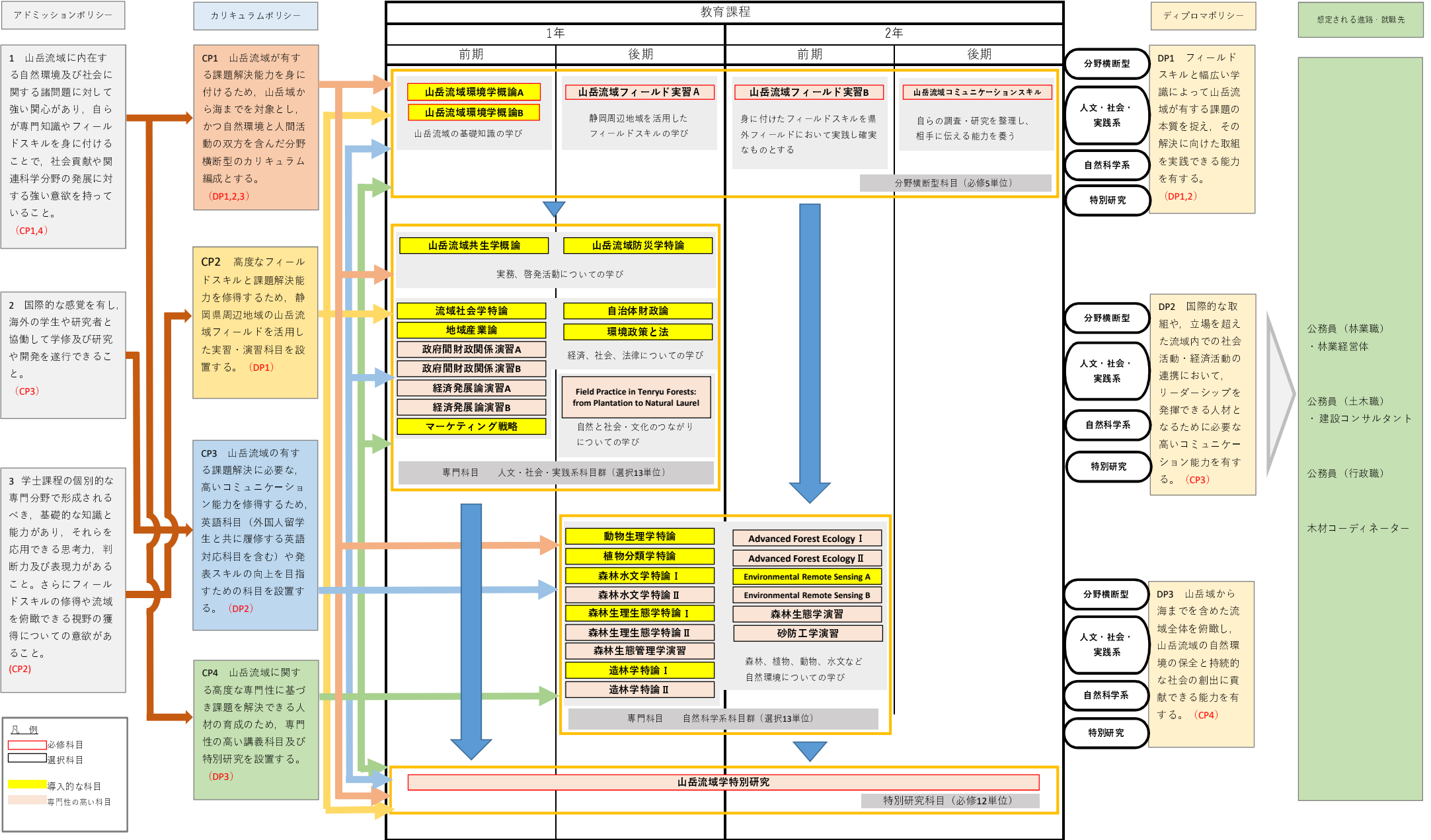


山岳流域研究院 カリキュラム・ツリー (令和5年度以降春季入学生用) ※科目区分同士の関係を青色、APとCPの関係を茶色、CPと科目区分の関係を各色の矢印で示す

<p>【設置の趣旨及び必要性】</p> <p>○山岳域のみならず山岳流域全体を俯瞰できる人材、更には自然環境や社会を含めた分野横断型の幅広い視野を持った上で、高度な専門知識・スキルを活用できる人材に対するニーズが高まっている。</p> <p>○山岳域を水源に持つ流域が有する課題に対処するためには流域の一部にのみ着目するのではなく、流域全体を俯瞰することが必要である。</p>	<p>【養成する人材像】</p> <p>○山岳流域研究院では、高度な専門科目群により養われる高度な専門性、フィールドを活用した実習等により身に付くフィールドスキル、分野横断型の履修により得られる幅広い視野、英語科目の履修や研究発表を通して磨かれるコミュニケーション能力を持ち合わせ、静岡はもとより、日本各地、更には海外において、流域が有する共通課題の解決に資する人材を養成する。</p>
---	--



<p>【設置の趣旨及び必要性】</p> <p>○山岳域のみならず山岳流域全体を俯瞰できる人材、更には自然環境や社会を含めた分野横断型の幅広い視野を持った上で、高度な専門知識・スキルを活用できる人材に対するニーズが高まっている。</p> <p>○山岳域を水源に持つ流域が有する課題に対処するためには流域の一部にのみ着目するのではなく、流域全体を俯瞰することが必要である。</p>	<p>【養成する人材像】</p> <p>○山岳流域研究院では、高度な専門科目群により養われる高度な専門性、フィールドを活用した実習等により身に付くフィールドスキル、分野横断型の履修により得られる幅広い視野、英語科目の履修や研究発表を通して磨かれるコミュニケーション能力を持ち合わせ、静岡はもとより、日本各地、更には海外において、流域が有する共通課題の解決に資する人材を養成する。</p>
--	---

